

第28回 くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート

## ヘンデル メサイア

# HANDEL MESSIAH

～ピリオド楽器使用／ピリオド唱法による～  
共同音楽監督：ジョン・エルウィス／渡邊順生

指揮・チェンバロ：渡邊順生

独唱：ジョン・エルウィス 鈴木美登里 櫻田亮ほか

合唱：モンテヴェルディ・アンサンブル

管弦楽：ザ・バロックバンド

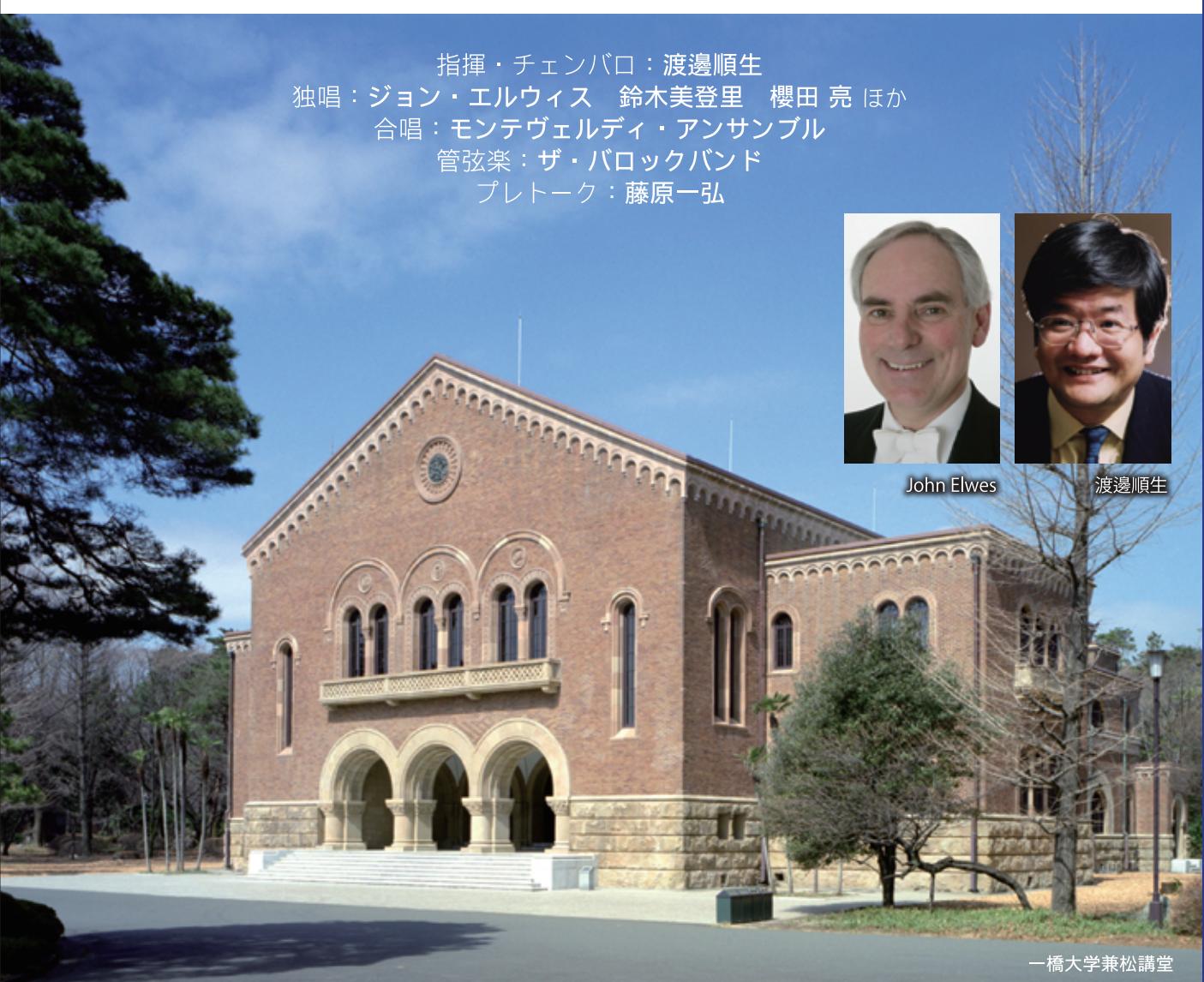
プレトーク：藤原一弘



John Elwes



渡邊順生



一橋大学兼松講堂

2015年11月15日(日)

14:00 プレトーク (13:30開場) 14:30 開演

一橋大学兼松講堂 (JR国立駅南口徒歩7分)

前売券：S席 5,000円(指定) A席 4,000円(自由)

学生券 2,000円(自由) [30歳未満。入場時、学生証のご提示を求めることがあります。]

当日券：各500円増し

■ 親子セット券(限定20席)…保護者同伴の小・中・高生は学生券で指定席可。(裏面参照)

★ 親子セット券のお申込み、車椅子でのご来場の方は、主催者事務局まで (TEL: 090-8495-4582)

★ 未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮ください。

★ チケット購入後のキャンセル・変更はくれぐれもご容赦ください。

主催:ボランティアチーム如水コンサート企画

後援:(社)如水会、新三木会、国立市、国立市教育委員会、国立市社会福祉協議会、国立市商工会、

國立市觀光まちづくり協会、國立市商業協同組合、國立商工振興(株)、国際ソロブチミストくにたち

特別協賛:(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団

協力:一橋大学管弦楽団、「Café ここたの」(一橋大まちづくりサークル)

わが国を代表するチェンバロ・フォルテピアノ奏者兼指揮者の渡邊順生は、一橋大学卒業後、アムステルダム音楽院を首席で卒業、以後、内外で古楽演奏の普及と啓蒙に精力的に活躍。2010年度サントリー音楽賞を受賞。長年の盟友で世界的名テノール、ジョン・エルウィスはじめ古楽界の一流音楽家たちが兼松講堂に集います。

### ●チケットのお求め●

◆公式ホームページからのお申込み  
<http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>

如水コンサート企画

検索

### ◆問合せ・電話予約

・コンセール・ブルミニエ

☎ 042-662-6203

(月～金10:00～18:00)

### ◆国立市内プレイガイド

・一橋大生協(西ショップ)

・「白十字」南口店

・くにたち市民芸術小ホール

・「リストランテ文流」国立店

・「とれたの」

### ◆電話申し込み

・東京文化会館チケットサービス

☎ 03-5685-0650

チケットはセブンイレブン各店にて代金引換で受取ることが出来ます (手数料がかかります)

・NPOおんがくの共同作業場

☎ 042-522-3943

## ◆「渡邊順生／ヘンデル／メサイア」に寄せて◆

実業界に人材を輩出している一橋大学には、世界のクラシック音楽界で活躍する二人の異色の卒業生がいる。渡邊順生（チェンバロ・フルティピアノ奏者兼指揮者）と河原泰則（コントラバス奏者・前ケルン放送響首席奏者／ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位）の両氏。一橋卒業後、直ちにそれぞれアムステルダム音楽院、ベルリン芸術大学に学び共に首席卒業。以来、内外で精力的に活動を展開し、その演奏が極めて高く評価されている“一橋から生まれた奇跡”的二人である。

彼らに共通しているのは、演奏技術面はもとより深い学識と長い演奏経験に裏打ちされたその「音楽の高み」に、内外の一流演奏家たちが共感し、彼らのもとに嬉々として参集し素晴らしいアンサンブルを作り上げていることである。

さて渡邊順生だが、これまで「くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート」において、“手兵”ともいうべきモンテヴェルディ・アンサンブル（声楽）とザ・バロックバンド（器楽）を率いて、2010年度サントリー音楽賞受賞対象公演にもなった『ヨハネ受難曲』（バッハ）を始め、『オペラ／ポップアの戴冠』（モンテヴェルディ）、『聖母マリアのタベの祈り』（同）を披露して来ているが、いよいよ『メサイア』（ヘンデル）が登場する。

我が国では、年末の年中行事としてベートーヴェンの《第九交響曲》と人気を分け合っている大曲だが、今回の公演は、ヘンデルがこの作品を作曲した当時（1741年）の楽器や歌唱法、演奏スタイルを再現する点で大変興味深い。加えて、古楽界の世界的テノール、ジョン・エルウィスが、今回も渡邊との共同音楽監督兼独唱を務める点も見逃せない。

彼は、幼少の頃よりイギリスの聖歌隊に属してボリフォニーと合唱音楽に通じ、そうした経験をベースにその後の演奏活動を展開してきたが、今回の『メサイア』は、彼のライフワークでもある合唱音楽研究の総決算とも言うべきもので、通常のこの作品の演奏から抜きんでた優れたものとなることが期待される。

（ボランティアチーム如水コンサート企画）

### 渡邊順生 Yoshiro Watanabe (指揮／チェンバロ)



1973年一橋大学社会学部卒業。2010年度サントリー音楽賞受賞。アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタフ・レオンハルトに師事し、'77年最高栄賞付きソリスト・ディプロマとブリ・デクセラランス（オランダの音楽教育課程での極め付きの賞）を取得。'80年に帰国以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、指揮者、チェンバロ・フルティピアノ及びクラヴィコード奏者として精力的に活躍。ブリュッヘン、ビルスマをはじめ欧米の名手達とともに共演多数。多数のCDをソニー、コジマ録音等によりリリース。その多くが特選盤となる。『モーツアルト：フルティピアノ・デュオ』（コジマ録音）で2006年度レコード・アカデミー賞（器楽曲部門）を受賞。楽譜の校訂や論文執筆なども手がけ、著書『チェンバロ・フルティピアノ』（東京書籍）は高い評価を得ている。上野学園大学客員教授、桐朋学園大学、東京音楽大学、国立音楽大学各講師。

### ジョン・エルウィス John Elwes (テノール)



1946年英国生まれ。このテノール歌手の膨大なレパートリーは、エリザベス一世の時代から20世紀音楽にまで及び、ヨーロッパの古楽声楽界の頂点に君臨している。ロンドンのウェストミンスター大聖堂の首席聖歌隊員を経て英国王立音楽大学に進学後、ルネサンスやバロック音楽に関心を持つようになり、ラモー、モンテヴェルディ等のオペラのタイトルロールや、バッハの受難曲の「福音史家」、あるいはドイツ・リートの繊細な解釈には定評がある。グスタフ・レオンハルト、ニコラウス・アーノンクール、ロジャー・ノリントンなど、数多くの主要な指揮者と共に演じ、有名レベルで100以上の録音を行っている。1990年の初来日以来、渡邊順生（指揮）／ザ・バロックバンドとの度々の協演は聴衆に感銘を与えており、兼松講堂での「バッハ／ヨハネ受難曲」（2010年5月）、「モンテヴェルディ／聖母マリアのタベの祈り」（2014年10月）は忘れ難い。

### モンテヴェルディ・アンサンブル（声楽）

ソプラノ：鈴木美登里 阿部雅子 川辺茜

アルト：青木洋也 中嶋俊晴 谷地畠晶子

テノール：ジョン・エルウィス 櫻田亮 鏡貴之

バ ス：浦野智行 小田川哲也 小藤洋平

### 鈴木美登里 Midori Suzuki (ソプラノ)



神戸に生まれる。京都市立芸術大学声楽科及び同大学院修了。京都音楽協会賞受賞。

ドイツリートを、佐々木成子、中山悌一、鳥井晴子、三井ツヤ子に、イタリアオペラをアンドレア・バランドーニの各師に師事。1991年、兵庫県芸術文化海外留学助成金を受けオランダに留学。グレゴリオ聖歌からバロック期に至る声楽音楽を、マックス・ファン・エグモント、レベッカ・スチュワートの各氏に師事。ディプロマを取得した後、国内外の多数の古楽グループに参加し演奏活動やレコーディングを行う。2000年に帰国してからは、ソロ活動の他、中世・ルネサンス・初期バロック期の声楽アンサンブルの研究に力を注ぎ、コンサートや講習会など積極的な活動を展開している。マドリガーレ・アンサンブル『ラ・フォンテヴェルデ』主宰。

### 櫻田 亮 Makoto Sakurada (テノール)



東京藝術大学院修士修了。1997年よりイタリアを拠点にヨーロッパ各国で幅広く演奏活動を行い、オッターヴィオ・ダントーネ、クラウディオ・カヴィーナ、ジョルディ・サヴァールなど多くの著名な指揮者とソリストとして共演。国内ではサヴァリッシュ指揮のNHK交響楽団、鈴木雅明指揮のバッハ・コレギウム・ジャパンなど、多くのオーケストラと共に演奏。2002年ブルージュ国際古楽コンクール第2位など受賞多数。日本イタリア古楽協会運営委員長としてイタリア・バロック音楽の普及に務めている。現在、東京藝術大学准教授。

### 藤原一弘 Kazuhiro Fujiwara (音楽学)

1978年より故鍋島元子氏主宰オリゴ・エト・プラクティカにてチェンバロを学ぶ。'80年よりチェンバロ調律師として活躍。'85年獨協大学ドイツ語学科卒。'90年立教大学大学院修士課程修了（組織神学、音楽学）。'91年ヴェルクマイスターに関する論文により辻莊一賞受賞。'95年同博士課程中退。'91-'98年チュービング大学音楽学研究所（'91-'93年DAAD奨学金）。'95-'98年フェッフィングにて合唱指揮者。明治学院大学キリスト教研究所研究員を経て現在に至る。故杉山好氏主宰・宗教音楽講座（通称バッハ・ゼミ）を2011年11月より引き継ぐ他、バッハのオルガン作品について学ぶオルガニストのための講座を長く担当。バッハ・コレギウム・ジャパンのカンタータ全曲演奏会シリーズでは歌詞対訳を行った。洗足学園音楽大学、青山学院大学、北海道大学非常勤講師。

## ●チケットのお求め●

公式ホームページからのお申込み・<http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>  
お問合せ・電話予約・コンセール・ブルミ工（月～金10:00～18:00） 042-662-6203

### 国立市内の取扱店

- 一橋大学生活協同組合（西ショップ） 042-575-4184
- 洋菓子・喫茶「白十字」南口店 042-572-0416
- くにたち市民芸術小ホール 042-574-1515
- 「リストランテ文流」加盟店 042-571-5552
- 「とれたの」（富士見台団地「むつさ21」内） 042-573-3444
- 東京文化会館チケットサービス\* 03-5685-0650
- NPOおんがくの共同作業場 042-522-3943

### 親子セット券のご案内

S（指定）席をお求めの方が、お子さま（小・中・高生）を同伴される場合、お子さま用の指定席を学生券価格で販売いたします（2階席・20セット限定）。主催者事務局に直接お申込み下さい。（→TEL:090-8495-4582）

如水コンサート企画

検索

